

皮膚皮下腫瘍の手術について

*様々な種類があり、それによって治療も異なります。基本的には局所麻酔をします。皮膚を切り取って、病理（顕微鏡）検査に出します。大きな腫瘍や、難しい部位にある場合は全身麻酔となります。

- 手術される場合は、基本的に通院治療となります。
- 切除したものは顕微鏡で更に詳しく調べ、後日結果説明を行います。
- 手術後約7～10日目で糸を抜きます（抜糸）。
- 創部は糸を抜くまでは水に濡らさないで下さい。
- 手術後約3日間化膿止めの薬（抗生物質）を内服投与します。
- 手術後、定期通院が必要となります。
- 傷跡は線状に残り、完全には消えません。
- 抜糸後約3ヶ月のテープ固定と約3～6ヶ月の紫外線予防をすることにより、より傷跡を目立たなくすることができます。
- まれに悪性である場合があります、その時には追加手術等が必要となります。
- 不明点は診察時に医師に質問して下さい。

